

と かしきう たき
渡嘉敷御嶽



渡嘉敷御嶽

渡嘉敷御嶽は字渡嘉敷の北側、字上田の南西側にある標高92mの丘陵に形成される御嶽です。御嶽は『琉球国由来記』に「渡嘉敷の嶽」と記載され、『豊見城市史』によると字上田、字渡嘉敷が崇拜し、座安ノロが祭祀を行なったと言われます。

御嶽内には数カ所の拝所が確認され、地域の人々によって大切にされています。また、一帯は市内でも数少ない貴重な植物群落を形成しており、後世のためにも保護していきたい地域です。

御嶽内からはグスク土器、近世、近代の陶器片や石斧が採集され、遺跡分布調査の際には立地等から「渡嘉敷グスク」と報告されています。

